

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成19年4月12日(2007.4.12)

【公開番号】特開2005-259251(P2005-259251A)

【公開日】平成17年9月22日(2005.9.22)

【年通号数】公開・登録公報2005-037

【出願番号】特願2004-69129(P2004-69129)

【国際特許分類】

G 11 B 27/00 (2006.01)

G 11 B 20/10 (2006.01)

【F I】

G 11 B 27/00 D

G 11 B 20/10 H

G 11 B 20/10 301Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月23日(2007.2.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

記録媒体に記録されたプログラムを再生することが可能な情報記録再生装置であつて、

ユーザを特定するためのID情報を設定するための設定手段と、

前記記録媒体に記録されたプログラム毎に、当該プログラムの再生が停止された位置を示すレジューム情報を記憶部に記憶する制御を実行する制御手段と、を有し、

前記制御手段は、前記記録媒体に記録されたプログラム毎に、前記設定手段で設定されたID情報と前記レジューム情報を関連付けて記憶する制御を実行することを特徴とする情報記録再生装置。

【請求項2】

前記ID情報の入力を受け付ける入力手段を有し、

前記制御手段は、前記入力手段から入力されたID情報に基づいて、前記記憶部に記憶されたID情報に関連付けられたプログラムを特定することを特徴とする請求項1に記載の情報記録再生装置。

【請求項3】

前記制御手段は、特定された前記プログラムに関する情報を表示部に表示する制御を行うことを特徴とする請求項2に記載の情報記録再生装置。

【請求項4】

前記制御手段は、特定された前記プログラムに関する情報として、前記ID情報に関連付けられたレジューム情報を基づいて、前記プログラムの再生が停止された位置に対応する静止画を表示する制御を行うことを特徴とする請求項3に記載の情報記録再生装置。

【請求項5】

記録媒体に記録されたプログラムを再生することが可能な情報記録再生装置の制御方法であつて、

ユーザを特定するためのID情報を設定するための設定工程と、

前記記録媒体に記録されたプログラム毎に、当該プログラムの再生が停止された位置を示すレジューム情報を記憶部に記憶する制御を実行する制御工程と、を有し、

前記制御工程では、前記記録媒体に記録されたプログラム毎に、前記設定工程で設定されたID情報と前記レジューム情報とを関連付けて記憶する制御を実行することを特徴とする情報記録再生装置の制御方法。

【請求項6】

前記ID情報の入力を受け付ける入力工程を有し、

前記制御工程では、前記入力工程で入力されたID情報に基づいて、前記記憶部に記憶されたID情報に関連付けられたプログラムを特定することを特徴とする請求項5に記載の情報記録再生装置の制御方法。

【請求項7】

前記制御工程では、特定された前記プログラムに関する情報を表示部に表示する制御を行うことを特徴とする請求項6に記載の情報記録再生装置の制御方法。

【請求項8】

前記制御工程では、特定された前記プログラムに関する情報として、前記ID情報に関連付けられたレジューム情報に基づいて、前記プログラムの再生が停止された位置に対応する静止画を表示する制御を行うことを特徴とする請求項7に記載の情報記録再生装置の制御方法。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】情報記録再生装置及びその制御方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、上記課題を解決するためになされたもので、その目的は、複数のユーザが使用しても予約した記録領域を確保でき、レジューム情報が混在することがなく、更には、誤消去もなく、使い易い情報記録再生装置及びその制御方法を提供することにある。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

本発明の情報記録再生装置は、上記課題を解決するため、記録媒体に記録されたプログラムを再生することが可能な情報記録再生装置であって、ユーザを特定するためのID情報を設定するための設定手段と、前記記録媒体に記録されたプログラム毎に、当該プログラムの再生が停止された位置を示すレジューム情報を記憶部に記憶する制御を実行する制御手段と、を有し、前記制御手段は、前記記録媒体に記録されたプログラム毎に、前記設定手段で設定されたID情報と前記レジューム情報とを関連付けて記憶する制御を実行することを特徴とする。

また、本発明の情報記録再生装置の制御方法は、記録媒体に記録されたプログラムを再生することが可能な情報記録再生装置の制御方法であって、ユーザを特定するためのID情報を設定するための設定工程と、前記記録媒体に記録されたプログラム毎に、当該プログラムの再生が停止された位置を示すレジューム情報を記憶部に記憶する制御を実行する制御工程と、を有し、前記制御工程では、前記記録媒体に記録されたプログラム毎に、前記設定工程で設定されたID情報と前記レジューム情報とを関連付けて記憶する制御を実

行することを特徴とする。